

2024年度
(令和6)

認定NPO法人 アルテピアッツァびばい
— 活動報告書 —
REPORT



認定NPO法人 アルテピアッツァびばい

代表者 理事長 磯田憲一

理事 13名

監事 2名

スタッフ 19名

(常勤7名、パート8名、季節パート4名)

※2024年度の人数

沿革

平成17(2005)年4月	設立総会
平成17(2005)年8月	NPO法人認証
平成18(2006)年4月	指定管理者制度により美唄市よりアルテピアッツァ美唄の管理運営を受託
平成19(2007)年4月	カフェアルテ、スタジオアルテ(体験工房)オープン、運営受託
平成19(2007)年4月	第1回安田侃の「こころを彫る授業」開催。以降、NPOスタッフが担当して毎月開催
平成21(2009)年10月	北海道新聞北のみらい奨励賞受賞
平成22(2010)年1月	平成21年度地域づくり総務大臣表彰受賞
平成22(2010)年4月	アルテ市民ポポロ制度発足
平成25(2013)年2月	北海道地域文化選奨、及び共同通信社地域再生大賞優秀賞受賞
平成26(2014)年2月	認定NPO法人に認定される
平成30(2018)年1月	第5回エクセレントNPO大賞「市民賞」受賞
平成31(2019)年1月	認定NPO法人の有効期間更新
令和6(2024)年1月	認定NPO法人の有効期間更新

炭鉱の記憶と安田侃氏の彫刻、そして集う人々の触れ合いや子どもたちの歓声が織りなす「アルテピアッツァ美唄」の空間は、多くの人たちとともに時を積み重ねてきました。

認定NPO法人アルテピアッツァびばいは、2005年に設立し、2006年からアルテピアッツァ美唄（現安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄）の指定管理者としてその維持に努めながら管理運営の役割を担ってきました。20年にわたり、これまでさまざまなご支援、ご協力をいただいたことに厚く御礼申し上げます。

美唄市と連携協力しながら、公共空間としての意味と役割を深め、この「場」をどう活かしていくかを発信していくことに努めてまいりますとともに、道道美唄富良野線の開通、外国人観光客の増加など変化する環境への対応も急務となっています。

このかけがえのない空間を未来へつなげていくために、今後ともNPOの運営に励んでまいります。皆様の更なるご支援ご協力をどうぞよろしく願いいたします。

理事長 磯田憲一



寄附ご支援のお願い

いただいたご寄附は、管理運営のために大切に使用させていただきます。

安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄は、「誰もがこころを広げられる芸術広場」を理念として入場料は設定していませんが、皆さまからのご寄附を管理運営費に充てています。このかけがえのない空間をゆるぎなく次代に伝えていくために、広く皆さまからのご支援をお願い申し上げます。



WEB決済



決済ページ(シンカブル)



郵便振替

郵便局に備え付けの「払込取扱票」で寄附が可能です。
※アルテ市民ポポロの方は市民会費払込の際に合算しての寄附もできます

郵便振替口座	02740-3-63900
加入者名	特定非営利活動法人アルテピアッツァびばい
※通信欄には「寄附」とご記入ください。	

銀行振込をご希望の方は事務局までお問い合わせください

その他、直接お越しの際は、

寄附箱



手渡し



<認定NPO法人への寄附金は確定申告で寄附金控除の対象となります。>

4
5
6
7
8
9
10
11
12
1
2
3

- 4/8 カフェアルテでオリジナルハーブティー提供開始
- 4/15 アルテ通信 vol43 (春夏号) 発行
- 4/20, 21 春のクリーン会 (折れ枝集め)
- 4/24-5/13 安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄企画展「記憶をつなぐ彫刻〜校舎の75年を振り返る」



- 5/10 「学校法人北工学園 旭川福祉専門学校」と美唄「ピバの子保育園」交流会

- 6/5-6 アメリカの大学生インターンシップ受け入れ (2名)
- 6/22 ポポロミーティング
- 6/28-30 こころキャンドルづくり



- 7/18 オリジナルグッズ「クリアファイル」A5サイズ新発売
- 7/22 台湾の中華大学生インターンシップ受け入れ (5名)

- 8/7-19 思い出の炭鉱写真展
- 8/11 炭鉱映像館
- 8/13 アルテの盆踊り
- 8/26 道道美唄富良野線開通
- 8/29-9/3 「安田侃彫刻とオペラを愉しむ イタリア ヴィアレージョ 6日間」ツアー実施

- 9/13 2025年壁掛けカレンダー販売開始
- 9/15 アルテ通信 vol44 (秋冬号) 発行
- 9/22 2025年卓上カレンダー販売開始



- 10/9 美唄市立東中学校2年生2名が職場体験
- 10/27 秋のポポロウォーキング

- 11/1-2 「こころを彫る授業」200回記念で「かあさんの味」特別復活



- 2/11 ポポロサロン
- 2/5-11 アーカイブ資料公開



- 3/1, 2 安田侃の「こころを彫る授業」
- 3/22, 23 小学生のための「こころを彫る授業」

○一年を振り返って



この春は例年よりも雪どけが遅く、「水の広場」オープンに向けて、スタッフ総出で雪かきをするところから新年度が始まりました。

4月から少しずつインバウンドのお客様が団体で来訪される日が多くなり、8月末に道道美唄富良野線が開通すると、通りがかりに「こんな場所があったんですね」とお立ち寄りくださるお客様も増えました。来訪者数の急な増加に少し戸惑いながら、改善できるところは改善しつつ、いつ来ても変わらない空間であるように意識して、お客様をお迎えしました。

今年度はスタッフの入れ替わりがあり、いつにも増して各部門のスタッフが連携し、業務にあたりました。そして、盆踊りや落ち葉集めなど、たくさんの人の手が必要な際にはアルテ市民ポポロをはじめとするボランティアの皆さんが快く手を貸してくださいました。おかげさまで、季節ごとに行っている恒例行事もいつもと同じように和やかに開催することができました。

引き続き、2025年度も多様な文化、多様な属性のお客様が数多く訪れることが予想されます。対話することを大切に、訪れるすべてのお客様がアルテピアッツァ美唄で心地よい時間を過ごすことができるように運営にあたります。

アルテピアツツア美唄を守る

○施設および環境の維持・管理・保全



アルテピアツツア美唄は、自然豊かな環境にあり、彫刻に樹液や鳥のフンなどが彫刻に付着することも多いため、「予防的保全」として毎朝すべての彫刻の状態を確認し、清掃をしています。汚れはこまめに取り除き、美しい状態を保つように心がけています。加えて、クリーニングやコーティングなど彫刻の定期的なメンテナンスも行っています。今年度は、ブロンズ彫刻の保全研修として、富山県高岡市を訪れ、安田侃ブロンズ彫刻の制作を支える工房「紫

穂」の内免与志男氏に保全計画の相談をするともに作業実習をさせていただきました。

彫刻のほか、お客様が安全に散策できるように、ぬかるみがひどくないか、草が伸びすぎていないか、など日々確認を行い、適宜作業しています。5月には、北海道立総合研究機構森林研究本部林業試験場の協力を得て、敷地内にある樹木の状態確認を行い、倒木の危険があるものを数本を切り倒しました。

また、地元企業の広瀬建設工業株式会

様の地域貢献事業として、木造校舎1階の女子トイレを和式から洋式にする改修工事をしていただきました。



○来訪者やお客様への対応

インバウンド来訪や道道美唄富良野線開通の影響もあり、2024(令和6)年度は、昨年度より来館者が7,000人ほど増えました。誰もが安全に心地よく過ごせるように、景観に配慮しながら、掲示物(案内図、トイレの使い方、危険区域への進入禁止など)は視覚的にわかりやすいイラスト化、多言語化をして注意喚

起に努めています。ギャラリー玄関(木造校舎1階)内には、敷地内地図や校舎の歴史などを記載した看板が新たに設置されました。

夏に水遊びスポットとして人気の「水の広場」は、多くの家族連れで賑わいました。敷き詰められている大理石の玉石を投げるなど、危険な行為が無いように、賑わいが予想され

る日には、スタッフが「水の広場」に常駐し、水の広場で過ごす際の「お願い」をまとめた用紙をお客様にお渡しするなど、作品と環境の保全に努めました。

また、撮影マナーの検討を行い、撮影者にお伝えすべきことや注意事項などをまとめた紙を作成しました。

○コンサート・イベント・展覧会



旧美唄市立栄小学校の校舎と体育館はそれぞれ「ギャラリー」と「アートスペース」として再生し、皆様の作品発表の場としてもご利用いただいています。ギャラリーの利用は、美唄の学校関係や地元の作家、北海道外の作家による、ジャンルも多岐にわたる12件がありました。アートスペースは21件の利

用があり、オンシーズンには毎週末ごとにコンサートや発表会の会場として利用されました。ギャラリー、アートスペースともに何度も利用される方が多く、利用者の満足度の高さを感じています。※2025年度より、アートスペースでのイベント利用は休止しています。詳しくはホームページをご覧ください。

○彫刻修復事業

今年度は、設置者からの依頼で光塩学園女子短期大学に設置されている白大理石作品「意心帰」、札幌市創成川公園にある「生誕」「天秘」「天秘」「生椿」のメンテナンスを行いました。日頃から管理されている方や創成川ポポロの清掃活動のおかげもあり、どの作品も比較的良好な保存状態にありましたが、彫刻の表面に蓄積した強固な汚れの除去や欠損部の補修、作品の素材に配慮した保護剤の塗布を行いました。その他にノーザンホースパークに設置されている「意心帰」の擦れ跡除去を行いました。擦れ跡は小さいものですが、こちらの作品も管理者からそして来場者から大切にされていることを感じるやり取りがありました。



アルテピアツァ美唄を楽しむ

○企画展

4月24日から5月13日まで、「木造校舎」にスポットを当て、「記憶をつなぐ彫刻～校舎の75年を振り返る」という自主企画展示を行いました。

当館のギャラリーは、炭鉱町に建てられた「美唄市立栄小学校」（昭和56年閉校）を再生させた空間です。この場所に刻まれた記憶と現在に

至るまでの時間をご紹介したいとの思いから開催に至り、会期中には2900名を超えるお客さまにお越しいただきました。展示の内容が呼び水となって、かつて栄小学校に通っていた方からたくさんのお思い出を聞かせていただくこともありました。



○次なるステップへ事業



幼児教育を目指す学生が研修の場の提供として、北海道上川郡東川町に本部を置く「学校法人北工学園 旭川福祉専門学校（現・東川国際文化福祉専門学校）」の学生と美唄市内保育園「ピパの子保育園」の園児たちの交流会を行いました。当日は様々な活動を通して北工学園の学生も保育園の園児たちも楽しい時間を過ごす事が出来たようでした。

自然豊かな芸術環境をいかした幼児教育の場として今後もこのような活動をサポートし、より多くの子どもの活動の場として利用していただければと考えております。

○体験工房スタジオアルテの活用（「こころを彫る授業」「アルテ○○の学校」など）

毎月「こころを彫る授業」を開催しましたが、今年度も新規の参加が多かったです。また、授業200回を記念して11月の2日間限定で2019年まで授業参加者の昼食を作ってくれていた「かあさんの味」が復活し、久しぶりの農家のお母さんたちのご飯に心もお腹も満たされていました。

3年ぶりに安田侃さんが講師をつとめる「安田侃の『こころを彫る授業』」を開催し、全国から延べ約70名の方が参加してくださいました。今回は特に応募が多く、新規でもお断りするなど、開催を心待ちにされていた方が多かった様です。

「小学生のための『こころを彫る授業』」は2日

間で美唄市内内外の新3年生～新6年生の7名が参加してくれました。「散策の時間」では、彫刻から彫刻へと歩く子どもたちは元気いっぱい、動物を探したり鳥の声に耳を傾けたり、安田侃さんの彫刻から感じる事などを皆で考えながら歩きました。

「誰もが参加できる小さな発見の場」というコンセプトのもと、不定期に開催している「アルテ○○の学校」も、今年度は開催しませんでした。次回のアイデア出しを常に行い、準備を進めております。



○アルテ文庫

ギャラリーに設置している、安田侃さんセレクトの書籍が並ぶ「アルテ文庫」。いただいたご寄附より、安田侃さんが書籍を購入し、本棚が充実していきます。

2024年度は新たな書籍は増えませんでした。貴重な本も多く、安田侃さんと書籍を結ぶ「紹介カード」を充実させていきたいと思っています。



○情報発信

年2回発行している「アルテ通信」はアルテピアツァの概要の他、展示やイベントの情報を掲載しています。その他、SNSやブログを活用して「アルテの日々」をお伝えしています。定期的に発信することでアルテピアツァでの出来事等を身近に感じてもらい、より多くのお客様に関心を持っていただけるよう発信を続けています。

また、近年はSNSを見て来られるお客様も多く、「水の広場」清掃日や不規則な休館日のご案内など、ホームページとSNSの両方で発信し、多くの方に周知するように心がけています。

○アーカイブ活動

2月にスタジオアルテで行った「アーカイブ資料公開」では、アルテピアツァ美唄がどんなふうになら続けているかを知っていただく機会になればと、年表に沿う形で、写真や新聞スクラップ、リーフレットなど関係資料を並べました。6日間の会期で延べ42名にご覧いただきました。

また、アルテピアツァ美唄に重ねられた大切な「思い」を後世にどう伝えていくか、検討しています。今年度は、オープン当初の市役所関係者、初期NPO関係者3名への聞き取り調査、文字おこしを行いました。

○炭山（やま）の記憶

毎夏開催している「思い出の炭鉱写真展」を今年もギャラリーにて開催いたしました。往時の白地図に思い出を書き込んでもらう「思い出地図」を今年も展示し、当事者の記憶を子どもや孫が聞いて書き加えてくれました。市内の方に大きな協力をいただき、炭鉱映像館を今年も開催、幅広い世代の方がお越しくございました。アルテの盆踊りも、今年も

不安定な天気の中8月13日に開催できました。市内の子どもの参加も多く、「アルテの盆踊り」を続けてきたことで、地域の夏の風物詩になってきているのかもしれないと嬉しく思いました。この日を彩ったキャンドルも、その制作に今年も多くの皆様のご協力をいただきました。



アルテピアッツァ美唄を未来へつなぐ

○アルテ市民ポポロ活動

安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄を未来へ繋ぐ様々な活動をしております。そのひとつがイタリア語で「市民」を意味し、アルテピアッツァ美唄を次世代で繋いでいく思いを共通項としたコミュニティの「アルテ市民ポポロ」です。

アルテ市民ポポロが交流できる場として、毎年ポポロミーティングやポポロサロンを開催しています。意見交換やポポロ同士の交流を目的としています。

2024年8月には、イタリア・ピアレージョでの安田侃野外彫刻展と舞台美術を手掛けたオペラの鑑賞ツアーを企画し、当法人スタッフも同行しました。野外彫刻展を間近で見たり、世界有数の大理石産地「カッラーラ」の見学、本場でのオペラ鑑賞、フィレンツェの世界遺産「ポーポリ庭園」に展示されている安田侃彫刻を見学したりと多くの感動のあるイタリアツアーとなりました。



	アルテ市民 popolo	団体会員	
内容	アルテピアッツァ美唄を次世代へつないでいく思いを共通項としたコミュニティ。		
会員になると	<ul style="list-style-type: none"> ●アルテ市民証が発行されます。 ●アルテ通信、popoloだよりが届き、アルテの現在（いま）を知ることができます。 ●ポポロミーティングでは意見交換やポポロ同士の交流をすることができます。 ●「ところを彫る授業」を1000円割引（継続参加は200円割引）でうけられます。 ●不定期開催の「安田侃の『ところを彫る授業』」のお知らせが届きます。 	 <p>※2024年度市民証</p>	
金額	<ul style="list-style-type: none"> ●市民会費 <p>ポポロ 3,000円 コポポロ（中学生以下） 500円 ※期間は毎年4月1日～翌年3月31日までの1年間です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●団体会費 <p>団体会員 一口 30,000円 ※期間は毎年4月1日～翌年3月31日までの1年間です。</p>	
●団体会員	アーキサイトメビウス株式会社 有限会社東オートセンター いとう写真 株式会社カンディハウス 株式会社カンディハウス札幌 株式会社岸本組 学校法人光塩学園 札幌アルト株式会社 札幌通運株式会社 主治医のような社会保険労務士法人 オフィスオカモト	空知商工信用組合 玉田産業株式会社 宗教法人長延寺 医療法人トルチュ氏家記念こどもクリニック 東戸公認会計士事務所 一般社団法人美唄市医師会 美唄市市議会議員会 株式会社美唄自動車学校 美唄市農業協同組合 広瀬建設工業株式会社	北星学園大学 北海道クリーン・システム株式会社 村松法律事務所 メガネの三愛 山口物流株式会社 株式会社雪屋媚山商店 税理士法人TACS 有限会社TOSHIO SHIMIZU ART OFFICE 他1社

(2025年3月31日現在)

○書籍・グッズ

アルテピアッツァ美唄で過ごした思い出を持ち帰っていただけることをイメージして、オリジナルグッズの企画、販売をしています。今年度は、ハガキやチケットを取めるのにちょうど良いA5サイズのクリアファイルを作成し、夏に販売を開始しました。半年ほどで100枚近くを売り上げ、人気を集めています。毎年ご好評いただ



いていきますカレンダーについて、昨年度に比べ、壁掛けタイプ、卓上タイプ共に販売数は微増し、オンラインストアでの販売も定着してきました。

○カフェアルテの運営



今年度は道道美唄富良野線の開通や、インバウンドの団体ツアーが増え、より多くのお客様が来店されました。地元食材を使ったメニューは日本の方々のみならず、海外からのお客様にも好評で売り上げを伸ばしました。お土産品についてもカフェでお出ししているコーヒーやハーブティーは、ドリップパックや、ティーバッグをご用意してカフェで気に入っていただけただけの物、ご自宅でもお楽しみいただけるようお土産品を取り揃えました。エアコンも設置され暑さの厳しい時期は、より快適に過ごせるようになりました。今後も多くのお客様に喜んでいただけるカフェを目指していきたいと考えております。

活動計算書

(2024年4月1日から
2025年3月31日まで)

科目	金額		
I. 経常収益			
1. 受取会費			
ポポロ市民会費収益	1,458,000		
コポポロ市民会費収益	4,000		
会員会費収益	140,000		
団体会費収益	870,000	2,472,000	
2. 受取寄附金			
募金箱寄附	1,918,643		
寄附金	3,158,143		
こだま基金寄附	0		
アルテ文庫寄附	0	5,076,786	
3. 事業収益			
指定管理者事業収益	30,118,550		
旧栄幼稚園除雪等委託事業収益	1,313,400		
工房事業収益	2,131,350		
広報事業収益	292,200		
炭山の記憶事業収益	11,650		
喫茶事業収益	12,063,087		
販売事業収益	5,264,690		
連携事業収益	3,451,987		
アルテ市民popolo事業収益	17,200		
調査研究事業収益	0	54,664,114	
4. その他収益			
受取利息	15,444		
雑収入	27,240	42,684	
経常収益計			62,255,584
II. 経常費用			
1. 事業費			
(1)人件費	27,429,491		
(2)その他経費	24,002,219		
事業費計		51,431,710	
2. 管理費			
(1)人件費	322,753		
(2)その他経費	4,389,266		
管理費計		4,712,019	
経常費用計			56,143,729
税引前当期経常増減額			6,111,855
法人税等			80,000
当期正味財産増減額			6,031,855
前期繰越正味財産額			28,119,134
次期繰越正味財産額			34,150,989

事業費・管理費 内訳

科目	指定管理	こだま基金	工房事業	アルテ文庫	旧栄委託	広報	調査研究	炭山の記憶	喫茶	販売	連携事業	アルテ市民	管理費	合計
(1) 人件費														
給与手当	14810058		983931		1033909	655952		324166	5117398	241448	1029711		321290	24517863
福利厚生費	2225752		488081		121548	1968		3285	388471	726	3087		1463	3234381
人件費計	17035810	0	1472012	0	1155457	657920	0	327451	5505869	242174	1032798	0	322753	27752244
(2) その他経費														
売上原価								10800	2980671	2082505				5073976
業務委託費	4038801										93500		2031139	6163440
諸謝金						15840		25574	7800		11000	3300	28100	91614
印刷製本費	69060		13000			258052		18030	17000	15510	2640	231000	825000	1449292
旅費交通費	182816					400	3120	900		3830	85580	70029	174241	520916
通信費	211793	1010	6083			48740		6984	173775	44263	760	309801	82850	896059
消耗品費	819125		77756		9960	115515	29342	17001	411050	72964	189487	206525	276850	2225575
材料費			132000											132000
修繕費	285153													285153
水道光熱費	5909082								202864				29877	6141823
地代家賃									120000				40000	160000
賃借料								11000			25850			36850
保険料	23760		2000						2700			6619	420000	455079
諸会費	5000								4000				21815	30815
研修費	23000												3000	26000
慶弔費														0
租税公課	1881200		132700		82000	18100		100	574900	142600	371700	800		3204100
支払手数料			10000									16500	132000	158500
新聞図書費													18000	18000
広告宣伝費								22350		54050		7800		84200
支払報酬														0
会議費														0
交際費	1960												7590	9550
減価償却費	362183							22000			132000		264832	781015
雑費	4512		17952					165	180748	134051	20735	65393	33972	457528
その他経費計	13817445	1010	391491	0	91960	456647	32462	134904	4675508	2549773	933252	917767	4389266	28391485
費用計	30853255	1010	1863503	0	1,247,417	1,114,567	32,462	462,355	10,181,377	2,791,947	1,966,050	917,767	4,712,019	56,143,729

*貸借対照表はホームページでご覧になれます。印刷したものが必要な方は事務局までご連絡ください。

基本理念

誰もがこころを広げられる芸術広場

安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄は、今を生きる全ての人々が、無心に、自由に、思い思いの時間を過ごすための芸術広場です。

炭鉱で栄え、衰退していったこの土地の記憶、人々の思いを、場のエネルギーとして受け止める空間は、過去、現在、未来という時の流れの中で、静かに佇み続けています。そうしたかけがえのない空間となることを願いながら、美唄市と美唄市出身の彫刻家・安田侃によってこの美術館は作られました。

広がる景色の中に置かれた彫刻が、自然と一体となって息づくこの空間は、見る人自身のこころを映し、自分との対話ができる場所です。この空間が、この地が変わりなく在り続けることで、誰もが安心して帰れる「こころのふるさと」として、未来に繋いでいくため、以下の理念を掲げます。

- ・自然と人と芸術の新しいあり方を模索し、提案し続けます。
- ・地域と人、人と人をつなぐ交流の機会を作り、交流の場となります。
- ・地域の文化、芸術、学術の振興に貢献します。
- ・土地の記憶を受けつぎ、読み解きながら、次の世代へ伝えます。
- ・彫刻家・安田侃の研究を通して、その彫刻の精神を理解し、後世に伝えます。

※この基本理念は、平成28年度より始められた「美術館会議」において、この空間の目指すべき姿を言葉にするため、美唄市教育委員会とNPO法人アルテピアッツァびばいが協力し、まとめたものです。



ホームページ



オンラインストア



Facebook



Instagram

2024(令和6)年度
認定NPO法人アルテピアッツァびばい活動報告書
発行：認定NPO法人 アルテピアッツァびばい
発行日：2025年5月30日
表紙写真：小川重雄

● 開館時間

水曜日～月曜日
午前9時～午後5時
入館無料(任意によるご寄附をお願いしています)

● 閉館日

毎週火曜日・祝日の翌日
(日曜日は除く)
12月31日～1月3日

● 交通

電車：JR函館本線利用で札幌より35分、
新千歳空港より80分(札幌で乗り換え)。
美唄駅下車、市民バス東線「アルテピアッツァ美唄」
行き乗車。(東明通り経由32分、旭通り経由19分)
車：道央自動車道利用で
札幌JCTより35分。
美唄ICより右折、5分。駐車場有り。

● クリーン会(4月下旬から11月上旬※雨天中止)

日時：毎週土曜日8時30分～10時
集合：アートスペース(旧体育館)前

● 定時ガイドツアー(4月下旬から11月上旬)

アルテピアッツァ美唄をスタッフがご案内します。
日時：毎週土曜日10時～(約30分) 無料
集合：アートスペース(旧体育館)前

安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄
〒072-0831 北海道美唄市落合町栄町
TEL/FAX 0126-63-3137
URL <http://www.artepiazza.jp/>

